

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

電源開発株式会社 竹原火力発電所

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市忠海長浜二丁目1番1号

(3) 業種

3 3 1 1 発電所

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19(2007)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

排出量を参考値として記載しています。

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成19年度 (2007)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
エネルギー 起源CO ₂	482,000				413,624	445,001	425,000
非エネルギー 起源CO ₂							7,403
メタン	11				16	14	302
一酸化二窒素	200,000				12,400	12,000	14,672
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	682,011				426,040	457,015	447,377
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 発電電力量（MWh）

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位(a)	目標年度 上段：原単位(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成19年度 (2007)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
エネルギー 起源CO ₂	0.073				0.050	0.056	0.058
非エネルギー 起源CO ₂					31.5	23.3	20.5
メタン	0.000				0.000	0.000	0.000
一酸化二窒素	0.030				0.001	0.002	0.002
その他 温室効果ガス					96.7	93.3	93.3

温室効果ガス 総排出量	0.103				0.051	0.058	0.061
					50.5	43.7	40.8
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.280				0.235	0.230	0.238
					16.1	17.9	15.0
実績に対する 自己評価		①目標年度の目標値について 当発電所の原単位数値は、当該年度の電力需給状況による設備の利用率および燃料性状により大きく変動することから、目標数値設定が困難であるため、設定していません。 ②令和5年度 発電電力量：7,344,963 MWh(原単位算定に用いた指標) ③令和5年度実績に対する評価について 高効率プラントの新1号機運開(2020年6月)により削減量が大きくなっています。特に一酸化二窒素については、旧2号機(流動床ボイラー廃止：2019年6月)による削減効果によるものです。 ④非化石エネルギーの加算により、メタン及び一酸化二窒素の数値が前年度より大きくなっています。					

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	発電所高効率運転の維持	・ 定期点検実施による設備性能維持
2	電気使用量の削減	所内動力の低減	・ 発電所補機運転台数の適正運用 ・ 照明設備へLED照明の導入
3	オフィス関係の取り組み		・ 冷暖房温度の適正管理 ・ 不必要な照明の消灯の徹底 ・ 省エネルギー推進の徹底
4	低炭素化への取り組み		・ バイオマス燃料混焼の推進

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
	産業廃棄物の有効利用率の維持		・ 石灰石、脱硫石膏の有効利用促進
	オフィスの資源		・ 事務用品のグリーン調達率の向上 ・ 再生コピー用紙の調達率の向上
	環境負荷物質の排出抑制		・ SOx、NOx、ばいじん等の排出抑制の継続

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。